

注意事項

- 調査対象期間は、原則として令和7年度（令和7年4月1日～令和8年3月31日）の1年間です
- 消費しているが消費数量を把握していない場合は、回答欄に「不明」と記入してください。消費していない燃料等については、回答欄には何も記入しないでください
- エネルギー消費量は数量（千kWh、千m³等）かつ整数（小数点以下四捨五入）で記入してください
- 「調査対象事業所」が入居・使用する建物以外に、「調査対象事業所」が管理する屋外の作業・操業現場におけるエネルギー消費がある場合（建設・操業現場、車両・船舶・設備等）は、それらを含めて記入してください

B1. 購入電力

 購入した電力のうち、共同受電等による『調査対象事業所』以外への販売・払出量は除いてください

記入する値は、「千kWh（1000キロワットアワー）」で記入してください
 （「kW（キロワット）」や「kV（キロボルト）」の値は記入しないでください）

購入電力(買電)量	単位	消費量計
	千kWh	

B2. 燃料消費

燃料消費量のうち、車両用燃料については、以下の「車両用燃料について」を参照のうえ、記入してください

燃料名	単位	消費量計	以下の設備を使用している場合、設備の□にチェックしてください また、設備で消費している燃料を「消費量計」の内数として記入してください ※発電や生産工程に用いないボイラ（給湯・暖房・厨房・殺菌用等の蒸気・温水を発生するのみのボイラ）は含みません ※ヒートポンプ方式は含みません			
			発電用ボイラ （汽力発電）	コジェネレーション	生産工程用ボイラ	排熱を利用しないディーゼル・ガスタービン等発電設備
都市ガス	千m ³					
LPガス (LPG、プロパンガス)	トン					
灯油	キロリットル					
A重油	キロリットル					
B・C重油	キロリットル					
ガソリン	リットル					
軽油	キロリットル					
（燃料名記入）	（単位記入）					
上記以外の燃料						

車両用燃料について

燃料消費量には、車両用（右記①～④）に消費した燃料を含めて記入してください

主に一般道路を走行する家用（社用）、事業用（タクシー、トラック、バス等）の消費量は含めないでください。

記入が必要な車両用燃料

- 工場・倉庫・空港等の構内のみで使用する車両用
- 小型特殊車用（フォークリフト、農耕用ハンドトラクタ等）
- 大型特殊車用（ブルドーザ等）
- 一般の輸送に従事しない特種用途車用（救急車、霊柩車等）

左記①～④以外の車両用燃料を含めて記入した場合はチェックしてください

B3. 自家発電

① 自家発電設備を所有または管理していますか
いずれかにチェックしてください（常用・非常用は問いません）

はい いいえ → B4へ

設備名	稼働状況（○で囲む）				単位	発電量計	うち、「調査対象事業所」以外への販売・払出量
	1	2	3	4			
ボイラ発電（汽力発電）					千kWh		
コジェネレーション					千kWh		
排熱を利用しないディーゼル・ガスタービン等発電					千kWh		
太陽光発電					千kWh		
風力発電					千kWh		
小水力発電					千kWh		
その他の発電→具体的に（ ）					千kWh		

B4. 熱源

熱供給事業者等から熱源を購入・受入していますか。または、以下の設備で熱源を自ら発生・回収していますか
いずれかにチェックしてください

- 発電用ボイラ（汽力発電）、コジェネレーション、生産工程用ボイラ（「B2. 燃料消費」で燃料消費量の記入が必要です）
- 排熱回収ボイラ

<記入不要>

- 発電や生産工程に用いないボイラ（給湯・暖房・厨房・殺菌用等の蒸気・温水を発生するのみのボイラ）
- ヒートポンプ方式

はい いいえ

熱源について、下欄に記入してください

→ B5へ

項目	単位	④購入・受入量	⑥自ら発生・回収量			『調査対象事業所』内での消費量			⑤調査対象事業所以外への販売・払出量
			合計	発電用ボイラ・生産工程用ボイラ	コジェネレーション	左記以外	⑦温水・冷水発生用及び自家発電用以外	⑧温水・冷水発生用	
蒸気	GJ								
温水	GJ								
冷水 ※水道水は対象外	GJ								
その他	GJ								

※発電用ボイラ・生産工程用ボイラ：燃料を投入して発電用ボイラ、生産工程用ボイラから直接発生・回収した熱量
 ※コジェネレーション：燃料を投入してコジェネレーションから直接発生・回収した熱量
 ※左記以外：排熱回収ボイラから発生・回収した熱量、蒸気の変換によって発生・回収した温水の熱量等（給湯・暖房・厨房・殺菌用等の蒸気・温水を発生するボイラは含まない）

具体的に（ ）
例：熱媒油、清掃工場での排熱

蒸気・温水・冷水等の「合計」欄の値を把握していない場合はチェックしてください

B5. 回答の範囲

 ①～⑧まですべて記入してください

① 「B1. 購入電力」～「B4. 熱源」で記入した値等には、「調査対象事業所」以外の事業所を含めていますか
いずれかにチェックしてください

はい いいえ

回答に含めた『調査対象事業所』以外の事業所名等を下欄に記入してください

企業名	事業所名	所在地 または 回答に含む事業所の調査ID
（例）株式会社〇〇	△△営業所	東京都千代田区霞が関10-11-12 〇〇ビル△階

② 『調査対象事業所』またはB5①で記入した事業所には、商品・製品・試作品の製造部門または研究部門がありますか。いずれかにチェックしてください

はい いいえ

③ 『調査対象事業所』またはB5①で記入した事業所が管理している屋外の作業現場や無人の施設等でのエネルギー消費はありますか。いずれかにチェックしてください

はい いいえ

④ (③の設定で「いいえ」を選択した場合は④も「いいえ」を選択してください。)
「B1. 購入電力」～「B4. 熱源」で記入した値等には、「調査対象事業所」またはB5①で記入した事業所が管理している屋外の作業現場や無人の施設等でのエネルギー消費量を含めていますか
いずれかにチェックしてください

はい いいえ

⑤ 『調査対象事業所』またはB5①で記入した事業所には、電気自動車向け充電設備がありますか
いずれかにチェックしてください（普通充電用・急速充電用は問いません）

はい いいえ

⑥ 従業者数 <令和8年3月末時点の値>
※パート、アルバイト等は、「1日8時間換算」従業者数

人

⑦ 延べ床面積 <令和8年3月末時点の値>
※小数点以下は四捨五入してください

m²

消費税込または消費税抜きのいずれかにチェックしてください

⑧ 売上高営業収入 <令和7年度の値>

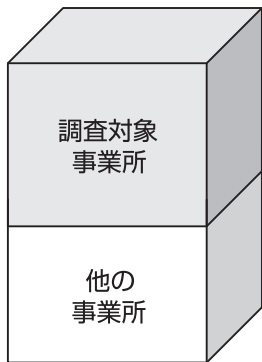
百万円

消費税込 消費税抜

以上で記入終了です。ご協力ありがとうございました

調査対象と回答数値について

原則 1ページ「A3.調査対象事業所」について回答してください(企業単位の調査ではありません)

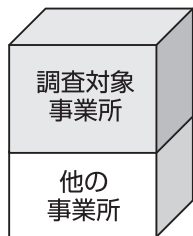


調査対象事業所のエネルギー消費量(電力・燃料・熱など)を回答してください
原則として令和7年度(令和7年4月1日~令和8年3月31日)1年間の値を回答してください

例外

調査対象事業所と他の事業所のエネルギー消費量を区別していない場合

◆延べ床面積または従業者数等の比率で按分した値を回答してください



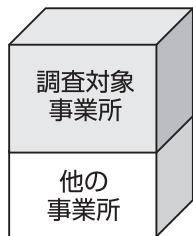
床面積
600m²
400m²

電力消費量が
100千kWh
の場合

$$100 \text{ kWh} \times \frac{600 \text{ m}^2}{600 \text{ m}^2 + 400 \text{ m}^2} = 60 \text{ kWh}$$

回答数値

◆延べ床面積または従業者数等の比率で按分した値を回答できない場合は、調査対象事業所と他の事業所の合計の値を回答してください



電力消費量が
100千kWh
の場合
回答数値

調査票3ページ

B5. 回答の範囲 ①~③まですべて記入してください

① 「B1. 購入電力」~「B4. 熱源」で記入した値等には、「調査対象事業所」以外の事業所を含めていますが、いずれかにチェックしてください

はい いいえ

回答に含めた「調査対象事業所」以外の事業所名等を下欄に記入してください ②~③についてご回答ください

企業名	事業所名	所在地	または 回答に含まれる事業所の調査ID
(例) 株式会社〇〇	△△営業所	東京都千代田区豊町1-1-12	〇〇ビル4階
他の事業所の企業名、事業所名、所在地を記入			

「B5.回答の範囲」の①で「はい」にチェックし、他の事業所の企業名、事業所名、所在地を記入

省エネ法(エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律)に基づく定期報告との違い

- ・記入する燃料種別、屋外等(『調査対象事業所』が管理する建設現場、無人施設、操業場所等)で使用するエネルギー、熱供給会社から供給される熱については、省エネ法に基づく定期報告と記入内容が異なります。詳細は、記入要領にて記入方法を確認してください

問い合わせ先: エネルギー消費統計調査事務局
電 話: 0120-716-637(フリーダイヤル)
受付時間: 月~金曜日(祝日除く) 9:00~18:00